

ワクチンについて

<子宮頸がん予防ワクチン>

子宮頸がんは、子宮頸部(子宮の入り口)にできるがんで、20～30歳代で急増し、日本では年間約15,000人の女性が発症していると報告されています。子宮頸がんの原因は、発がん性HPVというウイルスの感染です。発がん性HPVは特別な人だけが感染するのではなく、多くの女性が一生のうち一度は感染するごくありふれたウイルスです。

子宮頸がんワクチンは、すべての発がん性HPVの感染を防ぐものではありませんが、子宮頸がんから多く見つかるHPV16型、18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。完全に防ぐためには、3回のワクチン接種と、検診を受けることが重要ですので、20歳をすぎたら必ず定期的な検診を受けましょう。

<ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン>

ヒブとはヘモフィルスインフルエンザ菌b型という細菌のことで、皆さんの知っているインフルエンザウイルスとはまったく違います。乳幼児に髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症や中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などの気道感染症を起こします。

全国で約600人の乳幼児がヒブ性髄膜炎にかかっていることが分かっています。特に、生後3カ月から2歳未満のお子さんに多く発症しています。治療を受けても約5%のお子さんが死亡、約25%に聴覚障害、発達遅延などの後遺症がのこります。

ワクチンは現在までに120カ国以上で導入されており、それらの国ではヒブによる重篤な感染症が激減しています。

<小児用肺炎球菌ワクチン>

肺炎球菌は、多くの子どもの鼻やのどにいる菌です。子どもの体力が低下したときなどに細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、中耳炎などを引き起こす細菌です。

肺炎球菌性髄膜炎は、死亡例と、後遺症例を合わせると全体の40%近くに達します。生後3カ月から5歳までのお子さんがかかりやすく、年間約200人に発症しています。

3種類のワクチンが、無料(公費負担)で接種できるようになりました

本宮市では、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の全額助成を実施します。

■助成対象者

○子宮頸がん予防ワクチン

中学1年生～中学3年生相当年齢の女子

○ヒブワクチン

生後2カ月以上5歳未満の乳幼児

○小児用肺炎球菌ワクチン

生後2カ月以上5歳未満の乳幼児

■接種料金

無料(助成対象年齢を過ぎた場合は有料です)

■接種方法

母子健康手帳をお持ちになり、えぼか内の保健課または白沢保健センターで接種申請を行い、予診票の交付を受けた後、指定医療機関でワクチン接種を受けてください(指定医療機関の詳細は、申請の際にご案内します)。

■接種にあたって

この予防接種は、対象者またはその保護者が接種を希望する場合に行う「任意接種」です。申請時にお渡しする説明書の内容をよくご確認いただき、医師とご相談のうえ接種を受けてください。

接種回数と間隔

子宮頸がん予防ワクチン	
3回接種	(①初回 ②初回接種から1カ月後に2回目 ③2回目接種後6カ月後に3回目)

ヒブワクチン	
生後2カ月以上 7カ月未満	[初回免疫] 4週間から8週間の間隔で3回 [追加免疫] 3回目の接種後おおむね1年の間隔で1回
生後7カ月以上 1歳未満	[初回免疫] 4週間から8週間の間隔で2回 [追加免疫] 2回目接種後おおむね1年の間隔で1回
1歳以上5歳未満	1回

小児用肺炎球菌ワクチン	
生後2カ月以上 7カ月未満	[初回免疫] 27日以上の間隔で3回(ただし3回目までの接種を1歳までに完了すること) [追加免疫] 3回目の接種後60日以上の間隔で1回
生後7カ月以上 1歳未満	[初回免疫] 27日以上の間隔で2回 [追加免疫] 2回目の接種後60日以上の間隔で1回(1歳を過ぎてから接種)
1歳以上2歳未満	60日以上の間隔で2回
2歳以上5歳未満	1回

■問い合わせ先 保健課 健康増進係 (えぼか内 ☎63-2780)
白沢保健センター (☎44-4188)

永年勤続功労章を受章

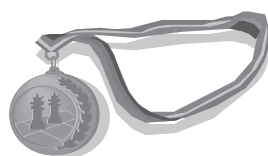
～消防功労者消防庁長官表彰～

消防功労者消防庁長官表彰式が3月3日に東京都で行われ、國分良修さん(本宮字竹花)が「永年勤続功労章」を受章されました。

國分さんは、昭和55年の入団以来30年にわたり、消防団活動に従事し、現在も副団長として活躍されています。



▲「永年勤続功労章」を受けられた國分良修さん



多年にわたる功績を表彰

～福島県統計功労者等表彰～



▲「福島県知事表彰」を受けられた石川義弘さん



▲「農林水産大臣表彰」を受けられた遠藤靖夫さん

福島県統計功労者等表彰式が2月14日に福島市で行われ、遠藤靖夫さん(青田字岩井)が「農林水産大臣表彰」、石川義弘さん(白岩字塩ノ崎)が「福島県知事表彰」を受けられました。

お2人の表彰は、多年にわたり統計調査に貢献された功績によるものです。

第41回世界児童画展で五百川幼稚園の園児2人に特別賞

読売新聞社賞、美育文化協会賞を受賞



▲大内姫愛ちゃん(五百川幼稚園)

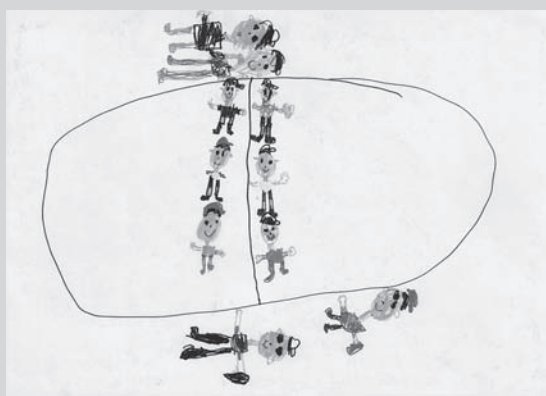


▲橋本拓海くん(現五百川小1年)

第41回世界児童画展の特別賞に五百川幼稚園の園児2人の作品が選ばれました。これは国内から10万5千点を超える応募作品の中から選ばれたもので、特別賞は全国でも54点だけで県内からは6人が選ばれました。

入賞した橋本拓海くんの作品「いっぱいはしたりレー」は読売新聞社賞を受賞し、大内姫愛ちゃんの作品「シンデレラ」は美育文化協会賞を受賞しました。

世界児童画展は、昭和45年に大阪万博を機にスタートしたもので、以後毎年開催されています。



▲橋本拓海くんの作品「いっぱいはしたりレー」



▶大内姫愛ちゃんの作品「シンデレラ」